

型式 **SMZ-2014** —オートスライダー12ch 操作器— 取扱説明書

■概 要

オートスライダー操作器は、調光シーンにより電動で自動的にスライダーがスライドしシーンを再現する画期的なメモリー操作卓です。

■特 長

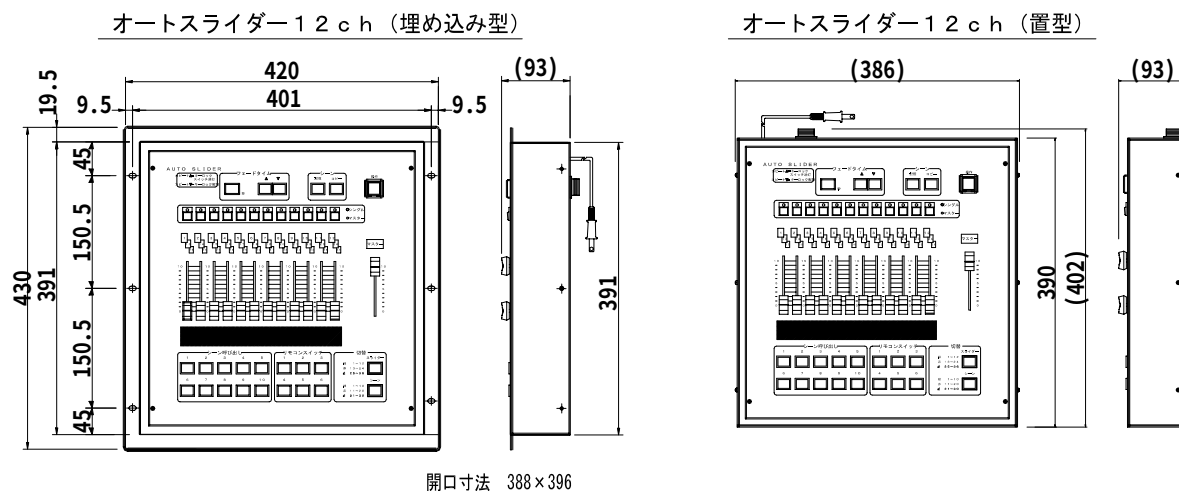
▶オートスライダー操作器はシーンを呼出すと自動的にスライダーが動きシーンを再現します。このことにより、従来の様に全てのスライダーを動かしシーンを再現するといった煩雑で時間の掛る作業が必要なくなり、誰でも簡単、確実に早くシーンを修正する事が出来ます。又、スライダーが動きシーンを再現する為、実際に目で見て各チャンネルの調光レベル、シーンの内容を確認することが出来ます。

▶スイッチは2色LEDスイッチを使用しておりオンで赤色、オフで緑色と現在の状態が一目で確認出来る様簡単で使いやすく又、大変分かりやすい操作卓になっております。

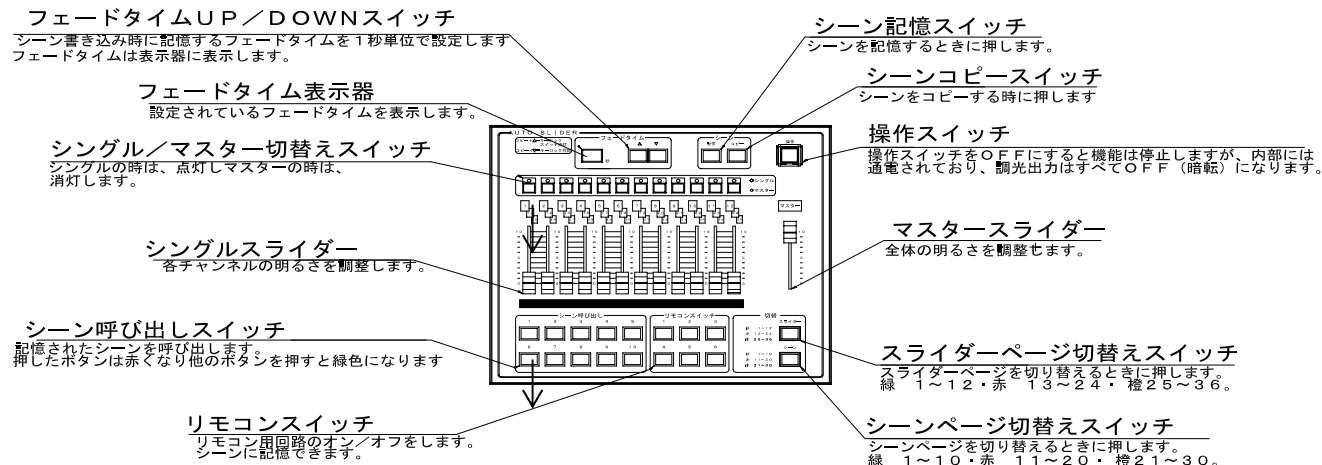
■定格及び仕様

制御チャンネル	調光制御回路 36 チャンネル(12 チャンネル×3 ページ切替)、リモコン制御回路 6 チャンネル
シングルスライダー	12 本
マスタースライダー	1 本
記憶シーン	30 シーン(10 シーン×3 ページ切替)
出力信号	DMX512 又は RS-485
電源	単相 2 線 AC100V 50/60Hz
本体寸法	W380 mm×H390 mm×D80 mm
本体重量	約 8 Kg
本体塗装色	黒半ツヤ
本体材質	スチール

■外観図

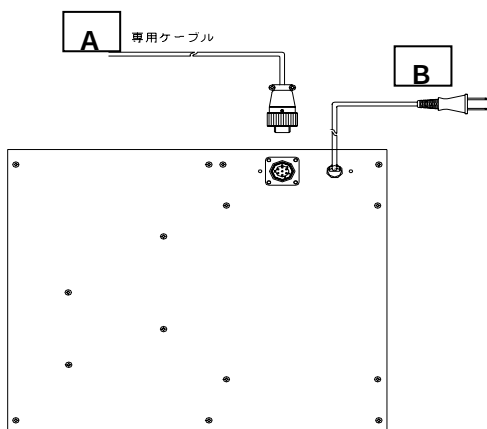


■各部の名称と働き



■コネクタの接続

オートスライダー操作器 背面図



オートスライダーの背面にコネクタが取付けられています。左下記の様に各々接続して下さい。

A 専用ケーブル 信号出力コネクタ

調光信号を弊社調光盤出力するためのコネクタです。各現場にあわせ、弊社にて作成し支給する専用ケーブルを取付けし調光盤へ接続して下さい。

注意：現場仕様にあわせ、専用ケーブルを支給します。専用ケーブル以外は使用しないで下さい。

注意：信号線の配線については、**■ご使用上の注意◆信号線の設置工事について**参照のうえ施工して下さい。

B 電源コード 電源用平行コンセント AC100V 50/60Hz に差込んでください。

注意！コネクタを接続時は必ず電源をオフにして作業を行って下さい。

■操作方法

●操作の流れ（シーン作成から記憶までの流れ）

コネクタを接続する。電源を投入して操作できる状態にする。

■コネクタの接続 ●電源の入れ方

書込みしたいシーンを呼出す。 ●シーンの呼出し

シーンを作成する。 ●シーンの作成

- 各チャンネル毎の明るさの調整方法（シングルスライダーの操作方法）
- チャンネルを一括した明るさの調整方法（マスタースライダーを使用した操作方法）
- リモコン回路の ON/OFF 方法（リモコンスイッチについて）

フェードタイム（作成したシーンに切り替えるのに要する時間）を設定する。

○フェードタイムの設定

シーンを記憶させる。本機に書込む

○シーンの書込み

●シーンの作成

○各チャンネル毎の明るさの調整方法（シングルスライダーの操作方法）

シングルスライダーを操作すると、そのチャンネル単独の照明の明るさを変えることができます。スライダーは、下側にスライドさせると照明は暗く、上側にスライドさせると明るくなります。

○チャンネルを一括した明るさの調整方法（マスタースライダーを使用した操作方法）

マスタースライダーを操作すると、シングルスライダー全てをマスタースライダーにて明るさを変化させることができます。但し、この時シングルスライダーは自動で移動しません。明るさを調整後、一度シーンを書込みしてから再度シーンを呼出すと各シングルスライダーは設定された明るさの位置まで移動します。
注意☞マスタースライダーを0（一番下）にしていると、シングルスライダー（調光回路1 2チャンネル）は出力されません。

○リモコン回路の ON/OFF 方法(リモコンスイッチについて)

リモコンスイッチを押すとスイッチの内照が緑から赤色に変わり、直点灯用の回路に接続されている負荷が点灯します。もう一度押すとスイッチの内照が赤から緑色に変わり、負荷が消灯します。

○シーンスイッチへリモコンスイッチを記憶させる方法について

先ず入力したいシーンのシーンスイッチを押してシーンを選択します。スイッチの内照は緑から赤へ変化します。次に入力したい動作のリモコンスイッチを押します。スイッチの内照は緑から赤へ変化、そして、シーン書込みスイッチを押す事により内容が記憶されます。尚、別のシーンを記憶させる時にリモコンスイッチが赤の状態の時は、その内容が記憶されます。記憶させたくない場合は、もう1度スイッチを押して内照が緑の状態に戻して下さい。

○フェードタイムの設定

フェードタイム(シーンの切り替りに要する時間)は、1秒単位にて0～99秒まで設定する事が出来ます。

○フェードタイム設定スイッチの△アップスイッチを押すと内照が赤色に点灯しフェードタイムが長くなります。内照はオフ状態時、緑色に点灯します。

○フェードタイム設定スイッチの▽ダウンスイッチを押すと内照が赤色に点灯しフェードタイムが短くなります。内照はオフ状態時、緑色に点灯します。

☞フェードタイム設定スイッチ（アップまたはダウンスイッチ）で設定したフェードタイム(0～99秒)は横のフェードタイム表示器に表示されます。

☞アップまたはダウンスイッチ共、押し続けるとフェードタイムの数字は早く変わってゆきます。

○シーンの書込み

書込みたいシーンナンバーを呼出しシーン作成、フェードタイム設定後、シーン書込みスイッチを押します。

●電源の入れ方

操作スイッチを押すと操作可能オン状態になり、操作スイッチ内照ランプとオン状態の各スイッチ内照ランプが赤色に点灯します。その他のオフ状態のスイッチ内照は緑色に点灯します。もう一度押すとオフ状態になり、スイッチ内照ランプが消え操作することが出来なくなります。

注意☞オフ状態になると出力は全てオフになり暗転します。

注意☞電源投入時には、シーン1のシーンが自動的に呼び出される様に設定してあります。

●シーンの呼出し

呼び出しをしたいシーンのシーン呼び出しスイッチを押すとシーン呼び出しスイッチの内照が赤く点灯し記憶されたフェードタイムで、各シングルスライダーが自動で移動、調光シーンを再現します。スライダーが止ったら、シーン呼び出し完了です。

☞シーン呼び出しスイッチを押し、自動でシングルスライダーが動作している途中であっても手動操作（ス

ライダー、リモコンスイッチの操作)を行なうことができます。

注意 電源投入時には、シーン1のシーンが自動的に呼び出される様に設定しています。

この時シーン呼び出しスイッチ1の内照及び、シーン1にて選択されている分のスイッチの内照が赤色に点灯します。選択されていない内照は緑色に点灯します。

●シーンの編集

○シーン内容の変更

変更したいシーンを呼び出してスライダーを操作し、シーンやフェードタイムを変更してからシーンの書込みを行います。

○シーンのコピー

1. シーン呼び出しスイッチにて コピーをしたい元のシーンを選択 します。
2. コピースイッチを押します。シーン呼び出しスイッチにてコピー先のシーンを選択すると、調光データ及びフェードタイムがコピーされます。コピー先のシーンを複数選択する事も可能です。

●キーロック機能

○キーロックの有効

コピースイッチを押しながら△アップキーを押すとキーロック機能が有効になります。キーロック機能有効中は、フェードタイムの設定、シーンの記憶、シーンのコピーが出来なくなり、使用出来ないスイッチの内照が消灯します。

○キーロックの解除

コピースイッチを押しながら▽ダウンキーを押すとキーロック機能が解除になります。通常モードに戻り、使用出来なかったスイッチの内照が点灯します。

■使用上の注意

◆電源について

- ◇電源プラグは、必ずAC100V（60Hzまたは50Hz）の電源コンセントに差込んで下さい。
- ◇電源コードの上に重いものをのせたり、踏みつけたりして、傷をつけないで下さい。
- ◇電源プラグをコンセントから抜く場合は、電源コードの断線やショートによる危険防止の為、必ず電源プラグを持って下さい。
- ◇雑音を発生する装置モーター、調光器など消費電力の大きな機器と別のコンセントをご使用下さい。

◆設置について

- ◇温度が極端に高い場所(直射光の当る場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など)や、極端に低温での使用や保管は避けて下さい。(温度条件 10～35℃)
- ◇水気の近く濡れた床などや湿度の高い場所、ホコリの多い場所は避けて下さい。湿度条件(20～80%)
- ◇衝撃や振動の多い場所は避けて下さい。
- ◇強い磁気を発生する機器の近くでは使用しないで下さい。

◆信号線の設置工事について

重要 信号線は商用電源(供給電源、負荷)と50cm以上離して施工して下さい。

配管等の工事では必ず信号線と商用電源は同配管にしないで下さい。
操作と異なった動作が起きたり ちらつき の原因となります。

◆お手入れについて

- ◇通常のお手入れは、柔らかい布で空拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが激しい時は、中性洗剤で汚れを拭き取ってから、必ず柔らかい布で空拭してください。
- ◇ベンジン、シンナー及びアルコール類は使用しないで下さい。